



2019～2020

津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH

例会日/毎火曜日
例会場/都シティ津 津市大門7-15
事務所/津市大門10-7
ピッチャーズビル2階
TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/今野信太郎
幹事/樋口直人
E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp
ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/



第2582回例会 2019年10月15日(火) 天候 曇り

—— 10月は経済と地域社会の発展月間・米山月間 ——



例会予定

- 10月22日(火) 法定休日
- 10月29日(火) 外来卓話
ヤマモリ(株) 代表取締役社長 三林 憲忠様
- 11月5日(火) 月間関連卓話
地区R財団部門・補助金小委員会
グローバル補助金担当副委員長 中西 康裕様
- 11月12日(火) 外来卓話
日本労働組合総連合会三重県連合会
会長 吉川 秀治様
- 11月16日(土) 地区大会(11月19日(火) 例会変更)

進行担当 [澤田副SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング 四つのテスト

来訪者 [今野会長]

米山奨学生 万華(ワン・ホア)君(伊勢南RC)
米山記念奨学会委員 打田 章雄様(津北RC)
津RC 小柴 眞治君 舘 健造君
久居RC 青木 謙順君

出席報告 [大池委員]

10月15日 出席率 46名中 32名 69.57%
9月29日 修正出席率 46名中 40名 86.96%

ニコBOX [伊藤(仁)委員長]

打田 章雄様(地区米山記念奨学会委員)
本日は米山のアテンドで仕事を休みお邪魔いたします。行きたい所があれば案内させていただきます。
小柴 眞治君(津RC) 津まつり、無事に終了いたしました。皆様に感謝です。メイクアップにまいりました。よろしく願いいたします。
舘 健造君(津RC) 津南RCへ初めて参加させていただきます。よろしく願いいたします。
青木 謙順君(久居RC) いつもお世話になっております。津まつりも無事に終了されて良かったです。美杉手筒花火も豪快に行われました。今後ともよろしく願い致します。

会長報告 [今野会長]

- ◆台風19号で被災されました皆様にお見舞い申し上げます。
- ◆米山記念奨学生 万華(ワン・ホア)さん、後程、卓話をよろしく願い申し上げます。
- ◆次週は、「即位礼正殿の儀」ということで休会です。祝日と祭日の違いをご存じでしょうか? 祝日とは、建国や独立などのその国の歴史的な出来事に由来したり、功績のあった人物を称えて制定された記念日のことです。祭日とは宗教儀礼上重要な祭祀を行う日のことです。昭和23年(1948年)に「国民の祝日に関する法律」が制定される以前は、皇室での祭り事(儀式や祭典)を祭日と呼んでいて、国民の休みは、祝日の他にこの祭日も休みを貰っていたことから、休日=祭日と祝日と呼ばれていたのです。後に昭和22年に皇室祭祀令が廃止され「国民の祝日に関する法律」が施行され、祭日はなくなりました。ということで、「即位礼正殿の儀」は皇室行事ということで祭日に当たります。

幹事報告 [樋口幹事]

- ★本日例会終了後、定例理事会開催の件
- ★10月22日(火)「即位礼正殿の儀」祭日の件
- ★ロータリーの友より原稿募集の件
- ★第7回日台ロータリー親善会議 福岡大会の件

10月定例理事会報告

- 次年度理事役員を選考に関する件 承認
- 台風15号災害義援金の件 一人¥500×50名分 承認
- 庄司正樹会員休会延長の件 承認
- 新年家族例会の件 1/5(日) 会員¥10,000 ご家族¥3,000 承認

今野信太郎君 地区米山記念奨学会委員 打田章雄様、本日はお世話になります。米山記念奨学生 万華様、本日の卓話よろしく願い申し上げます。
樋口 直人君 本日は米山月間です。地区米山記念奨学会委員 打田様いらっしゃいませ。米山記念奨学生 万華様、卓話よろしく願いいたします。
山本 哲也君 ロータリー米山記念奨学生 万華様、卓話よろしく願いいたします。米山記念奨学委員 打田様、お世話いただきありがとうございます。

大川 吉崇君 ・万華さんをお迎えして。
・樋口さん、奥田さん、鈴木さん、お世話をおかけしました。今後ともよろしくお願ひします。
・台風一過、津まつりに津西幼稚園は“安濃よさこい”、大川幼稚園は“鼓笛隊演奏”に奮闘しましたので。
中尾 哲也君 私も米山委員会に所属させて頂いております。先週の山本委員長よりお願ひ致しております米山特別寄付、皆様の暖かいご支援宜敷くお願ひします。今日は伊勢南RCの奨学生 万華さんに卓話頂き大変感謝いたしております。

村木 正二君 先日のIMでは松田AGの下大成功に終わりました。まだまだCOホストの役目がたくさんあります。頑張ってお願ひ致します。／ 米山奨学生 ワン・ホアさん、本日は御苦勞様です。／ 米山記念奨学生 万(ワン)華(ホア)君(伊勢南RC) 地区米山記念奨学会委員 打田章雄様(津北RC)をお迎えして、田口浩司君、山本哲司君、西井健之君、松田英明君、樋口直人君、羽根昌江君、竹内敏明君、澤田勝志君、小川恭平君、旭 晋君、伊藤孝行君、千原一典君、何川 高君、高林 学君、岩井純朗君、岡部宏司君、田島和雄君、伊藤 仁君、日南田隆司君

月間関連卓話

「米山奨学生として」

三重大学地域イノベーション学研究科の博士3年生
伊勢南RC 米山記念奨学生 万(ワン)華(ホア)君



皆様、こんにちは。初めまして中国から参りました万華と申します。現在、三重大学地域イノベーション学研究科の博士3年生です。昨年度4月から初めて米山奨学生になり、上野ロータリークラブにお世話になりましたが、現在、伊勢南ロータリークラブにお世話になっております。

私は現在、妻と娘の3人で津市に住んでいます。これは4年前に娘が三重大学付属病院で生まれた写真です。私の故郷は中国河南省洛陽市です。長い歴史を持っている洛陽は、唐の時代、則天武後の統治時期が一番有名です。洛陽市は中国のどこにあるの？何が有名なの？と聞かれますと、「洛陽は中国内陸部に位置し、北京から約800キロ、西安から約380キロ離れています。」「名物は洛陽の本場料理一水席料理、そして牡丹、龍門石窟などが一番有名です」と答えています。

次に、日本に対するイメージと、日本に留学する目的についてお話させていただきたいと思ひます。海の向こうにある日本に対する最初のイメージは子供の時日本アニメからです。その後、綺麗な桜、雄大な富士山、古い神社、神秘的でカッコいい忍者……映画や写真などで見た日本は、美しいイメージがあり、ずっと頭の中であり、日本に行くのは長い間、自分の夢でした。大学に入る前、日本に関する知識は、すべてテレビドラマ、新聞、雑誌、インターネットから得たものでした。映画の中で流れてきた、音楽のような日本語を初めて聞いたとき、すぐに綺麗で柔らかい言葉に惹かれました。日本の色々なことに対する興味があったので、大学で日本語を勉強することにしました。その大学で出会った日本人の先生一塩沢裕二先生から日本経済と文化や風俗習慣など、いろいろなことを教えていただき、日本に対する興味ますます深くなり、日本をもっと知りたいたいと思うようになりました。

一方、中国にいた時から経済、特に中国不動産業に関する問題に興味を持ち、不動産業に関する新聞の経済記事をよく読んでいました。近年、中国の不動産バブルの発生とその崩壊リスクについて、盛んに議論されるようになってきました。そこで、不動産バブルの発生と崩壊が、なぜ今まで起こっていないのかを明らかにしたいと考えました。

日本はアジアの先進国であり、世界でもアカデミックな雰囲気のある大学が多いです。日本の大学でなら、不動産バブルのメカニズムを明らかにでき、優れた教育をも受けることができると考えました。現在は三重大学地域イノベーション学研究科で、日本と中国の不動産業に関する専門知識を勉強しながら、三重大学人文社会科学研究科の豊福教授の指導により、中国における不動産バブルの発生要因と、住宅価格高騰のメカニズムを明らかにする研究をしています。修士課程では、「中国における住宅市場の形成と不動産業の発展」をテーマとして、研究しました。この2年間で、主に中国不動産の供給側の問題を明らかにしました。しかし、不動産バブルの発生要因と住宅価格高騰のメカニズムについて考えるためには、不動産の供給側の要因だけでなく、需要側の要因、すなわち不動産への投資、購入主体と、それらに対する資金供給主体の問題について考察する必要があります。これが第1課題となります。第2課題は住宅問題に対する地方政府の具体的な取り組みです。現在、修士課程で残された課題について引き続き研究しています。

去年4月から米山奨学生になり、もう一年間半になりました。今までの留学生活の中に、最も多彩なこの一年間半でした。米山ロータリークラブのロータリアンの方々、各国の奨学生達と仲良くし、たくさんの人とコミュニケーションができて、確かにいい勉強になりました。それに、米山ロータリアンの方々のご支援を頂いたおかげで、自分の専門研究にもっと専念できるようになりました。

月一回の例会では、立派な各業の経営者や、技術者など、地元の様々な分野の最前線で活躍されている方々から、貴重なお話を伺え、人生に対する考え方や、生活の意味などを新しく理解できました。

米山奨学生としての時間は、半年余りしか残りませんが、この残り半年余りで、米山ロータリアンの方々から、さらに多くのことを学び、さらに深く交流し、地域活動に積極的に参加して、ロータリー第2630地区の学友会の立ち上げに自分の微力を尽くしたいと思ひます。と同時に、今年は三重県庁に三重県グローバル学生大使に任命されたことを契機に、米山ロータリーで学んだ奉仕の心を持って、日中両国の相互的理解の架け橋となって、日中世代友好のために、引き続き一生懸命努力したいと考えております。そして、博士号を取って、三重県で就職して、三重県と中国のつながりとして、自分の微力を尽くしたいと思ひます。

最後に、今まで皆様のご支援を頂き、本当にありがとうございました。皆様の優しい心と笑顔を「宝物」として、この一生で忘れずに、感謝の気持ちを持って、引き続き頑張りたいと思ひます。